

《特集》高校生から大人までともに学ぶ佐賀大学の生涯学習

- 社会で輝く先輩からのメッセージ
- 教育・研究Report
 - ◎ ローズマリーなど身近な食品が身体に及ぼす影響の解明を目指す
 - ◎ 高オレイン酸大豆を使った健康食と栄養士の育成で肝がん撲滅へ
 - ◎ 太陽光利用型植物工場で栽培・研究 農作物・加工品は大学構内で販売
- イキイキ佐大生/学生広報スタッフが取材しました!「ノギ」「佐賀大deラボ」
- お知らせ/LINEスタンプ販売開始



高校生から大人まで ともに学ぶ佐賀大学の生涯学習

学びで自分を成長させたい、もう一度学び直したい、新しいことを知りたい。
そんな気持ちは学生に限ったことではありません。
今回は、地域に先駆けて本学が行っている生涯学習の取り組みをご紹介します。

学びの環境を活かし
誰もが学べるチャンス

ゆつたりとしたキャンパスと、優秀な講師陣がそろった佐賀大学の学びの環境を、ぜひ地域の皆さまにも活用していただきたい。そして、ともに学びたい。その思いをカタチにしたのが、本学の多彩な取り組みです。中でも、正規の科目の一部を本学の学生たちとともに受講する「授業開放」や、様々なテーマを設けて実施される「公開講座」には例年多くの参加をいただいています。他にも高校生が学ぶプロジェクト、ITのプロが講師を務めるデジタル技術講座、地域の助産師のスキル支援などを行っています。

佐賀大学の取り組み

- ✔ とびらプロジェクト……P2～
- ✔ DX人材育成事業………P3～
- ✔ 助産師リスキル事業……P5～
- ✔ 授業開放
- ✔ 公開講座
- ✔ 高大連携事業
- ✔ 美術館イベント など



学生と同じ目線で学ぶ「授業開放」



興味のあるテーマを楽しく学ぶ「公開講座」



学び直しや学び始めのきっかけに

とびら プロジェクト

佐賀大学が佐賀県教育委員会と協力して開発・実施している、全国的にも珍しい高大連携カリキュラム。高校3年間と大学4年間をかけて将来の〈とびら〉を開く「継続・育成型」のプログラムです。

佐賀大学の「とびらプロジェクト」が始まったのは平成26年度ですが、その準備は平成24年度から始まっていました。当時の学長や学部長が県内の高校を直接訪問し、じっくりと意見交換を行ってから、プログラムやシステムを構築しました。まずスタートしたのは、教師を目指す生徒を対象とした「教師へのとびら」。続いて「科学へのとびら」「医療人へのとびら」「社会へのとびら」

「アートへのとびら」が順次スタートし、現在では全学部で5つのとびらが実施されています。

一般的に行われている単発のイベントや公開授業と違い、参加者は高校1年生から継続的にカリキュラムに参加し、高校と大学の7年間で進路を見据えていくことが大きな特徴です。参加者は、本学の先生や現役高校教師の講話や、大学での講義を受け、現役大学生と交流し、グループ



教師へのとびら「英語科教育法」の授業に参加する高校生たち。テストの種類や作り方、内容の精査、点数の解釈などについて触れながら、外国語能力の測定と評価について考えていきます

ワークやプレゼンテーションといったアクティブラーニングに参加することで、積極的な大学での学びにつなげていきます。大学に入学してから、または就職してからの「思っていたのと違う」というミスマッチを少なくすることも期待されている全国的に見ても画期的な取り組みです。



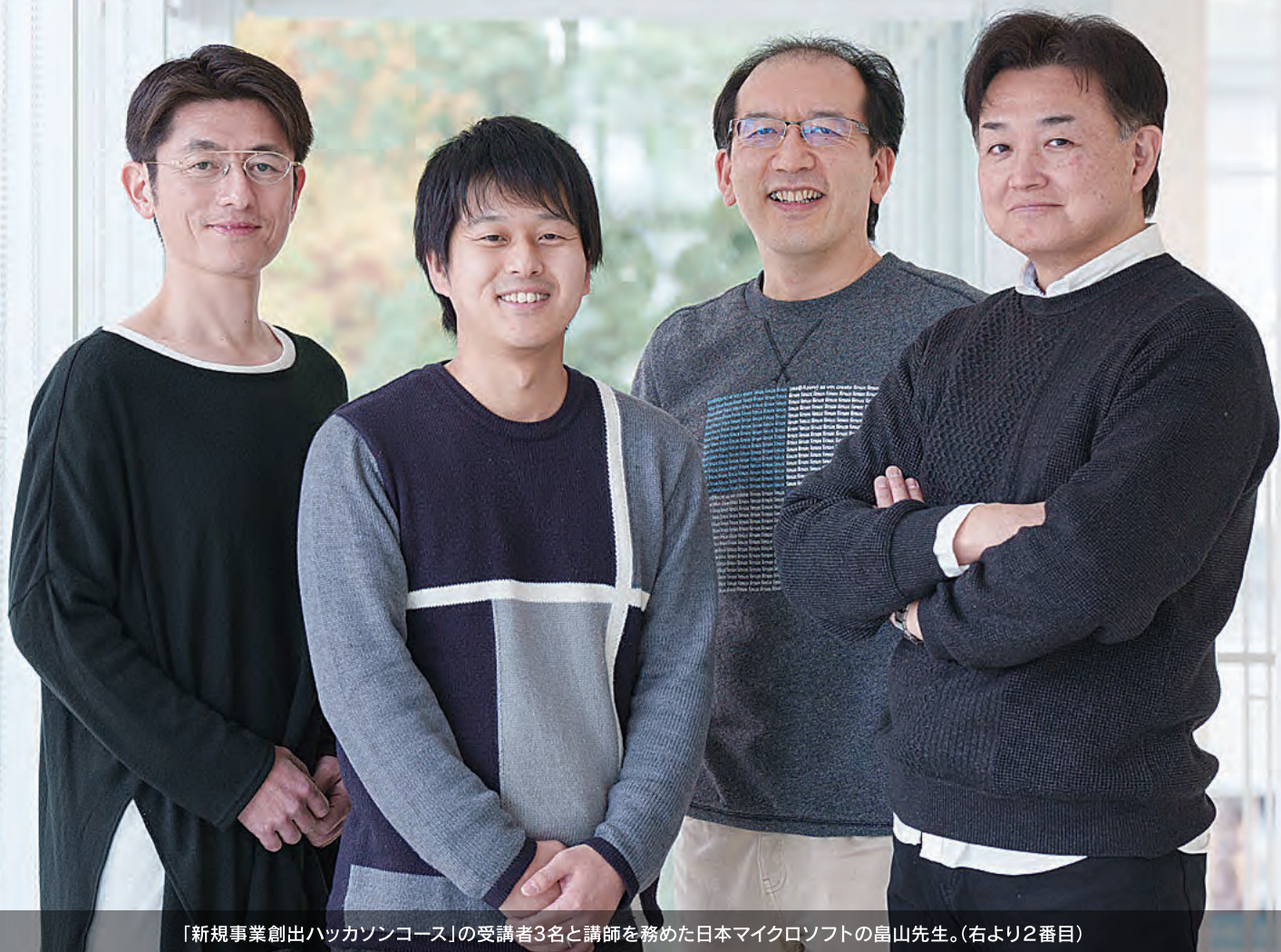
佐賀県内のさまざまな高校から「教師へのとびら」に参加



グループワークや発表で一日の取り組みを振り返るリフレクション



保健体育分野「フェアプレイを考えよう!」の授業



「新規事業創出ハッカソンコース」の受講者3名と講師を務めた日本マイクロソフトの畠山先生。(右より2番目)

DXリスキルプログラム

仕事、学び、暮らしの中で、デジタル社会は目まぐるしいスピードで進化しています。そんな時代に柔軟に対応し、ともに成長していくために、知識や技術のアップデートや人材育成が必要です。中でもデジタル技術を活かしてビジネスを変革するDXは、最重要課題といえるかもしれません。佐賀大学でも社会人を対象としたリスキルプログラムを実施し、人気を呼びました。

地元企業の要望を踏まえ プログラムがスタート

DXは「Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)」の略称です。デジタル技術によってビジネスや人々の生活をより良く変革することですが、「何をしたらいいのかわからない」という人も多いのではないのでしょうか。そこでスタートしたのが、本学のDXリスキルプログラムです。開講に先立って学長や役員が約20社の企業を訪問してDXの実情を把握し、現場や専門家の意見を聞きながらプログラムを構成し、スタートさせました。



共通必修科目

※3コース全ての人を受講

6講座24時間

- ▶DX組織マインド醸成
- ▶ビジネス・ITリテラシー
- ▶キャリアの自律化



A データ分析・機械学習コース 7講座45時間

10名

実際のデータによるマーケティング分析や経営意思決定分析を行います。

B 業務改善スペシャリスト育成コース 6講座36時間

15名

業務棚卸ワークショップやAI-OCR/RPAなどのハンズオンを通して業務改善(BPR)手法を習得します。

C 新規事業創出ハッカソンコース 7講座45時間

15名

デザインシンキング、アイデア創発ワークショップを行い、実際にWebサービスを開発するハッカソンを行います。



詳しくは、「Sagallege DXリスキルプログラム」のホームページへ



VOICE

講師



日本マイクロソフト株式会社
シニアクラウド
ソリューションアーキテクト
畠山 大有氏

**最初は失敗しても、「何が原因か？」を
考えることが成長につながります。**

DXというツールを効果的に使うには、組織がどう変わっていきけるかが重要です。論理も重要ですが、今回はより具体的な実践に重きを置いたプログラムにしました。一人で完結しないようにグループワークの対話を重視し、自身の能力の高さや仲間の重要性を再認識してもらうことにも努めました。失敗しても、まずは使ってみてほしいですね。

受講者



戸上電機製作所株式会社
林田 晃一氏

**職場の上層部も巻き込んで
一体感を持って取り組んでいきたい。**

新規開発のために新しい部署が発足し、試行錯誤して行く中でハッカソンコースを受講しました。オンラインでの受講が主でしたが、様々なツールを使うことで、リアルな現場を遜色なく受講できました。グループワークが多く、周りのアイデアや意見の絞り込みやアプローチの手法を学ぶことができたことも良かったです。

**デジタル技術を使って
組織の活性化を**

本プログラムの大きな特徴は次の3つです。

【専門性の高い講師陣】

個人のスキルや企業のニーズに合わせて専門的な3つのコースを設け、本学講師陣をはじめ、日本マインクロスソフト株式会社などの企業からもDXの第一線で活躍するプロを招いています。普段はなかなか接することのない専門職の講師に刺激を受け、DX推進をいろいろな角度から考えます。

【共通必修科目の設置】

DX推進にはDX技術だけを取り入れるのではなく、ビジネス・ITリテラシーなどの基本的な知識も欠かせません。技術の修得と合わせて、DXをより深く理解します。

【実践的な学び】

対面やオンラインを取り入れた座学を中心にしながら、実機によるハンズオンや実データを用いたワークショップなども開催。より実践的な学びでスキル向上を図りました。

**さらに14講義を
受講者以外にも限定公開**

3つのコースには多くの応募があり、全体で4.5倍の倍率。DXへの関心の高さや、リスキリングの必要性を感じている企業・人材が多いことを実感する数字となりました。そこで、抽選にはずれた人にもリテラシーコースの14講義動画を限定公開。さらには、九州地区の国立大学や私立大学、高専、企業などにも同じように講義を公開することで、DX人材育成のプラットフォーム構築にも取り組んでいます。

本学で積極的に動き出したDXリスキルプログラム。今後、どんな広がりを見せるのか楽しみです。



左より 医学部看護学科事務室の原口美保子さん、佐藤珠美教授、榊原愛助教、同事務室のダン尚美さん。

🤝 助産師・保健師リスキルプログラム 🤝

少子化や助産師不足といわれる中で始動した佐賀大学の佐賀県助産師リスキルプログラム。その中心となって取り組んでいるのが、医学部看護学科の佐藤珠美先生です。なぜ助産師を取り巻く状況が厳しいのか、なぜ助産師のリスキルが大切なのか、そして今回のプログラムの特徴はなにか。助産師とその教育の現場を見続けてきた佐藤先生に、2年間の取り組みを聞きました。

助産師教育の危機感が プログラムのきっかけ

助産師が活躍する分野では、「助産師をはじめとする人材不足」「職場で必要とされるスキル的大幅な変化」「困難な再就職」などが妨げとなり、助産師が働き続けにくい状況があります。さらに、「就職したとしても、お産の数が少なくて助産師としての実践を積めない」といった問題も抱えています。

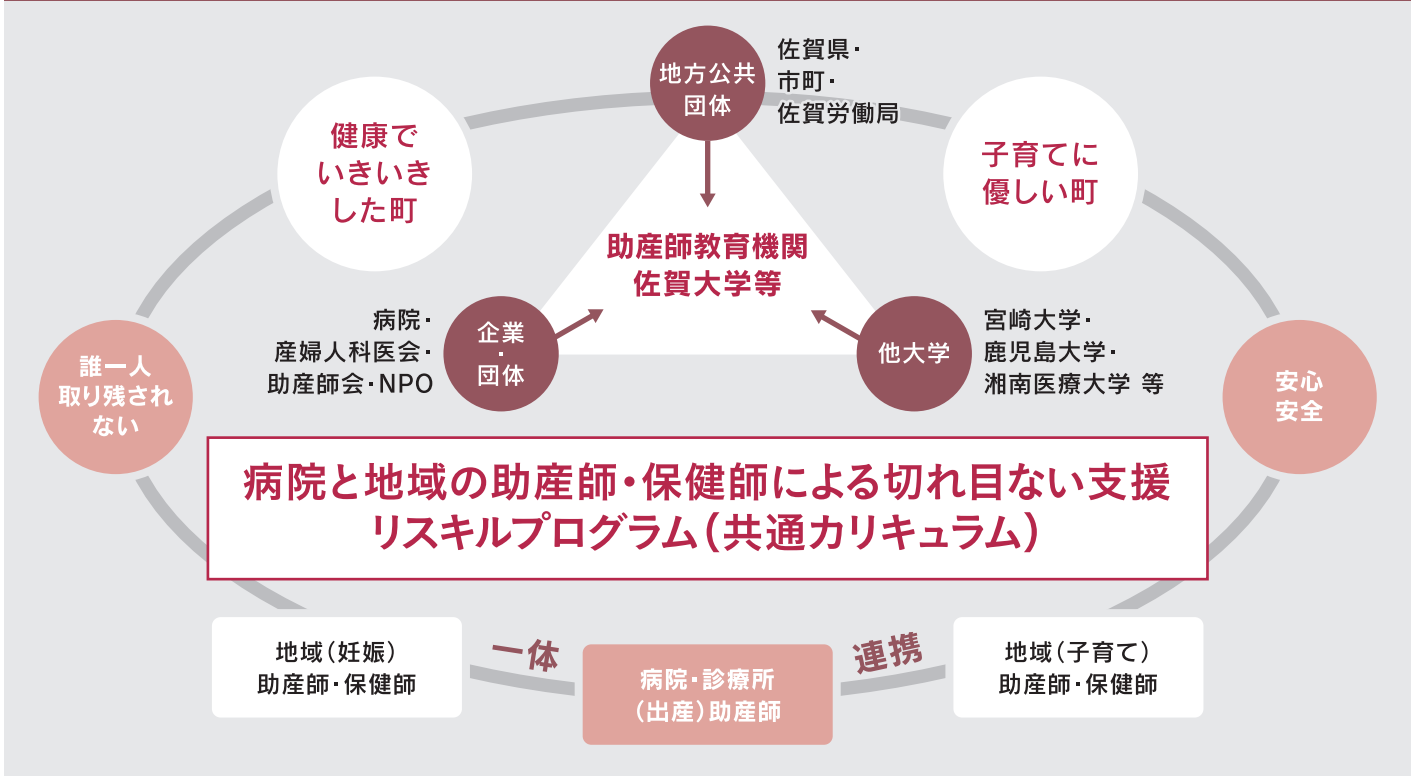
そこで解決のカギとなるのが、助産師のリスキル教育です。人材一人ひとりの専門知識やスキルを向上させることで、助産師や保健師が少ない地域においても母子保健の質を確保するためのプログラムを作成しました。

助産師の厳しい状況は教育現場にも影響として表われ、助産師希望学生の実習を受け入れてくれる施設も数少なくなっています。

「実習先の不足で、助産師教育を継続していくことに危機感を覚えました。この状況が、リスキル教育に取り組み大きなきっかけにもなりました」

今回のプログラムでは、佐賀県内の産科のある5病院の助産師、市町の助産師と保健師を対象に、妊娠期

佐賀県助産師リカレント教育



から子育て期までを通して切れ目ない支援を実現するためにリスクリングを行っています。

学びたい意欲が 一歩踏み出す原動力に

本プログラムでは、施設や地域を超えて、助産師や保健師に求められている新たな能力を身につける場や機会を提供しています。コロナの第7波、第8波の影響を受けて教育期間が3か月から4か月になる等、不測の事態も起きましたが、「新しい知識を学びたい」「知識・技術が足りないのに身につけたい」「ブランクがあるから再就職が不安」「病院助産師では産前産後ケアの経験が少ない」「育児休暇明けで復職したい」など、勉強への意欲や仕事への意識が高い人が積極的に参加しました。

また、もう一つの特徴は、母子保健に関わる人ならだれでも受講できる〈部分受講制度〉を設けたことです。現地での対面授業以外は、自分が必要な授業を1科目から無制限に選ぶことができ、自分のペースに合わせて受講できます。日々の仕事に追われる中で能力・スキルの向上を図ることは大変難しいことですが、オンライン講座が中心だったこともあり、助産師59名、保健師21名

をはじめとする116名が、北海道から沖縄までの24の地域から参加しました。

働きながら学ぶのは大変 だから、応援したい

プログラムの立ち上げ・運営には、予算、講師依頼、講義日程の設定、動画編集と配信など、非常に忙しい状況がありました。佐藤先生がスタッフと力を合わせ、働きながら学ぶ助産師・保健師に寄り添った対応を続けました。

「本学にも、助産師になりたいという学生はたくさんいるですよ。少子化も進み、産科は厳しい状況にありますが、それをいい方向に転換するには今が最後のチャンスかもしれません」と佐藤先生。

今回のプログラムは本学だけでなく、どまらず、思いを同じくする宮崎大学や鹿児島大学とも連携を取りながら進められました。この活動は、助産師不足の解消や産前産後ケアの充実につながるよう期待されています。

詳しくは、「佐賀県助産師リカレント教育プログラム」のホームページへ



社会で輝く 先輩からの メッセージ



2021年度の卒業生・修了生の

就職率は

98.9%(2022年5月1日現在)

と近年高い水準を維持しています。

いま社会で活躍している本学のOB・OGから

就職を目指す在学生へのメッセージを紹介します。

佐賀大学公式 マスコットキャラクター

名前	カッチーくん
性別	オス
誕生日	2月29日
年齢	ひみつ
好きなもの	いちご
苦手なもの	グリンピース、うめぼし
性格	心優しく、天然系。
	でも好奇心は、鳥一倍

「会社は実際に働くまで分からない。
やり直す”選択肢もある”」



高専を卒業して一度就職をした後、改めて本学3年次に編入しました。一社目で苦い経験をしたこともあり、自分に合う企業に就職することが目標でした。現在の会社は夏のインターンシップで雰囲気の良い感じ、社員の方からも「親切な人が多い」と聞いて志望しました。設計開発グループで、鋳物製品の設計開発を行なっています。業務は要件整理からモデルの作成、解析による強度計算、作図、試作品による試験、梱包形態の決定など多岐に渡ります。

会社で人に説明する機会が増えたので、学生時代のプレゼンテーションの練習が役立っていると感じています。

現在2年目で、年齢は大学院卒より2年遅れている形になるので、今は2つ上の先輩と同パフォーマンズの業務がこなせるよう精進しています。

上司への説明はまだ緊張しますが、業務で機械工学の基礎知識を応用するので、もつと学んでおけば良かったと思うこともあります。学生の皆さんには、コミュニケーション能力が身に付く場へ参加しておくことを勧めます。社会人になると、当然ながら周囲は年上の方がばかりです。上司や先輩との接し方が上手であれば、仕事のやりやすさもだいぶ違ったりするかなと感じています。



壱岐尾 湧介

IKIO Yusuke

有明工業高等専門学校
理工学研究科 理工学専攻
機械システム工学コース
2021年度修了

日之出水道機器株式会社



鴻江 麻菜
KOUNOE Mana
八女学院高等学校
経済学部 2022年度卒

アサヒシューズ株式会社

大学4年間を目一杯楽しむため、友人とSNSで情報発信をしたり、屋台を出して商品を販売するなど多くのことにチャレンジしました。将来はマーケティングに携わり人々の生活を豊かにする仕事をしたいと考えていました。

アサヒシューズには、立ち仕事のアルバイトで足の疲労に悩まされた経験から「私たちは靴を通して日本の健康づくりに貢献します」という企業理念に魅力を感じ入社しました。今は販売計画を立案する部署で、商品供給体制を整える業務に日々奮闘しています。

社会に出た今、大学でやっていて良かったと思う事は、卒業論文のための企業の聞き取り調査です。電話対応の仕方

「抱え込みすぎず、自分のペースで。大学生活を楽しみむことも忘れずに！」



や話を聞く姿勢など、社会人に必要な基本的なマナーを学ぶことができた。心残りは、もつと色々な国に行きたかった事です。異文化に触れ、様々な考えを持つ人々と出会いそこでしかない貴重な経験は、自分の国や自らを振り返るきっかけとなり、自己の成長と自信につながると思うのです。コロナ禍もあり難しいことも多いと思いますが、後輩達には是非チャレンジして欲しいです。

私の現在の目標は、効率よくスムーズに仕事をこなし信頼される社員となること。今の業務を活かして、様々な部署で活躍できるようにステップアップしていきたいです。



野田 順世
NODA Junsei
AICJ高等学校
医学部 2022年度卒

福岡市民病院

祖父が医師であったこともあり、幼少期から職業として自然と意識していました。進学する大学を決める際、直接誰かのためになる仕事をしたいと漠然と考えていた私は、家族の勧めもあつて医学部を目指しました。今年度から医師1年目としてたくさんの患者さんと接していますが、あの時チャレンジして良かったと思うのと同じに、家族に感謝しています。現在は研修医として1〜2ヶ月単位で色々な診療科を経験しています。毎日新しいことを学び、充実した日々を過ごしています。

大学の部活動での人との関わりは、後に生かせることが多くあります。先

輩との関係は指導医の先生との関係に似ていて、いかに多くを吸収できるかはコミュニケーションの経験が物を言うかと思えます。後輩との関係は、患者さんに分かりやすく伝える際に大いに役立つと感じます。また学生時代に、自分に合った効率の良い勉強法を身に付けておくと、社会に出るから大変有用です。

将来の診療科を決めるのはこれからですが、どの分野に進んでも何か一つ、人には負けない強みを作りたいと思います。そうすることで医師としてより自信を持てるでしょうし、より多くの人のためになると考えています。

「悔いのないようたくさん悩んで、人生を精一杯謳歌してください！」



ローズマリーなど身近な食品が 身体に及ぼす影響の解明を目指す

教育学部 学校教育課程 准教授

萱島 知子 KAYASHIMA Tomoko



ローズマリーとストレス の関係について研究

私は今、「ハーブのローズマリーのストレス軽減効果をメインに研究しています。ハーブは料理や薬、香料、防虫などに利用される、私たちの暮らしに役立つ植物です。さまざまなハーブの中でローズマリーに着目したのは、その特徴的な成分であるカルノシン酸に興味を持ったから。体の中で酸化効果がある、有効性の高い成分です。ハーブは古来いろいろな

効果が言い伝えられており、ローズマリーはハツと目が覚めるような強い香り、集中力や記憶力を高めると言われています。勉強中の眠気覚ましにもおすすめです。

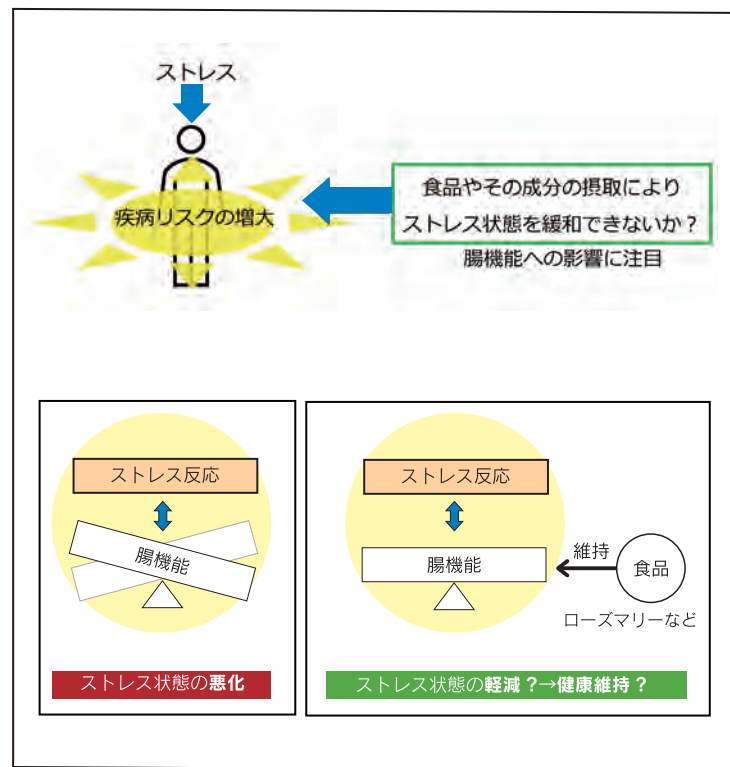
一方、ストレスに興味を持ったのは、助教時代に「精神的なストレス状態ががんの病態を悪化させる」という論文を読んだことがきっかけです。ストレスは精神的な疾病に影響するというイメージを持っていますが、がんや糖尿病、腸の病気など身体的な疾病にも影響

を与えることを知り、驚きました。そこからストレスについて研究を進めています。

心身の健康に寄与する 身近な食品を探したい

「脳腸相関」という言葉があるように、脳と腸は相互に影響を与え合っています。腸機能を維持することは、脳機能や全身の健康維持のために重要です。腸機能を保つことでストレス状態を緩和できるのではないかと考え、そのために有効な食品を探しています。

現在は、ストレスによる腸内環境の悪化に対して、ローズマリーやその成分が与える影響について調べています。カルノシン酸や他の成分を含むローズマリー抽出物にはストレス軽減効果がある可能性が明らか



腸機能を保ち、ストレス状態を緩和するために有効な食品や成分について研究している



萱島先生の研究室の横にある調理実習室

生活者の視点を大切に 実生活の向上を目指す

食品のストレス緩和効果のほかに、嗜好性(おいしき)についても研究しています。味の強度を数値化できる装置で、例えば

農学部先生が農作物化を目指し栽培されている山菜(のびる)の味の特徴を調べたり、リージョナル・イノベーションセンターのご紹介で新しく商品開発されるドレッシングの味を他のものと比較したりしました。



食生活学は、生活の向上を目指す家政学の一分野です。農学部や他の学部でも食品についての研究はできますが、私は「生活を科学する楽しさ」を感じながら、生活者の視点を大切に、実生活にどう還元できるかを考えながら研究しています。

**食欲に広く学んで
日常にも生かしてほしい**

教育学部では、小学校教員、中学・高等学校の家庭科教員を目指す学生を対象に教えています。主に担当しているのは、栄養学や調理科学についての



毛根から自分のアルコール代謝酵素のタイプを調べる実験をしているところ。お酒に強い体質か弱い体質かが分かる

今日の食生活の課題にも対応できるように意識しています。また、家庭科は生活の基礎を作る重要な教科で、すぐに実生活に

講義、調理実習、実験、演習です。授業では、知識や技術の習得と共に、科学的に食生活を理解できることを目指しています。講義で学んだ知識を実習で活用したり、実験で確認したりすると、新たな課題や疑問が生じます。それをさらに探求して、解決する力を身につけてほしいと考えています。

近年、教員はブラックな労働環境にばかりスポットが当たりがちですが、本学部に来る学生は教職に対して高い意識と意欲、大きな希望を持っていて、指導できることにやりがいを感じています。学生が教員になったときにどのような授業をするのかを頭に入れて、知識や技術はもちろん

学生たちに聞きました



教育学部3年の皆さん。佐藤勇太さん(左)は「萱島先生の授業は生活に必要なことを学ぶことができても楽しい」、山下敦子さん(中)は「実習や実験が多いところが魅力」、八尋茜音(あかね)さん(右)は「実験で思うような結果が出ないこともあり、試行錯誤しながら進めるのが楽しい」という



食物が身体の中で働いて効果を示すことがとても神秘的だと感じ、研究者を志した

応用できることも魅力です。しっかり学んで、日頃の生活に生かしてもらえればと思っています。

学生の皆さんには自分の学びを限定せず、食欲に学んで吸収してほしいと願っています。広く学んでいると、他の分野とつながることが多々あります。例えば、食物の授業でマヨネーズについて学び、水と油が混ざり合う乳化を知っていると、被服の洗剤の話につながると、発見する楽しさがあります。ですから、今の自分の視野だけで物事をみて「あれは面白そうじゃない」「これはやめておこう」と判断するのはもったいない。たくさんある学びの機会をぜひ活用してください。

高オレイン酸大豆を使った健康食と 栄養士の育成で肝がん撲滅へ

佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター
特任助教(管理栄養士) 肝炎医療コーディネーター

原 なぎさ HARA Nagisa



関連病院にて栄養アセスメントに基づき栄養指導を行う

肝がん死亡率ワースト2位 返上に向けた取り組み

佐賀県は長年に渡り肝がん死亡率が全国平均より高いため、肝疾患センターでは2012年1月より肝炎・肝がん対策に取り組んでいます。私は前任地(三重大学病院)で肝疾患の栄養療法を中心に、栄養指導や臨床研究に携わってきました。また「治療食は美味しくない、作るのが難しい」という患者さんの声にこたえて、グルメとメデイカルを組み合わせた治療食教室「グルメデイカル教室」も担当してきました。2021年5月、縁あって当センターに着任し、

肝がん撲滅の一助となるような研究や活動を行っています。

肝がんの主な原因は、かつてB型肝炎・C型肝炎でしたが、近年は脂肪肝へと変化しています。脂肪肝の原因は肥満やメタボリックシンドローム、アルコール摂取過多、カロリー摂取過多、運動不足とされています。佐賀のお米や肉、果物、お酒や菓子類は大変美味しくて私も感動しましたが、食べ過ぎは脂肪肝になるリスクがあり注意が必要です。

食事療法に最適な「高オレイン酸大豆」

脂肪肝は薬による治療法がなく、カロリー摂取を適正に戻す食事療法

や消費カロリーを増やす運動療法が主となります。しかし、栄養バランスを欠いた食事やダイエットを意識した極端な食事制限を続けることで筋力や筋

肝炎医療 コーディネーター 養成研修会

肝炎医療コーディネーターになって
あなたのスキルを
地域の方々の笑顔につなげませんか？



先着
200名
参加料
無料

2022年 12/18(日) ~ 2023年 1/10(火)

開催方法: WEB(オンデマンド)配信

申込条件: ①登録された連絡先は在籍が有効、②研修会などの通知等に利用されます。③必ず、個人の電話番号、メールアドレスを登録ください(確認のものは不同)。④職場が変わっても連絡は有効ですので、個人所有の連絡先登録にご協力ください。⑤佐賀県からのメールがとくように@pref.saga.jpのドメイン指定を行ってください。

詳細・申込は佐賀大学肝疾患センターのWEBサイトもしくは「佐賀肝研協会」で検索◎

事前登録 募集期間: 11月7日~11月21日 以下のQRコードから登録下さい。

問い合わせ先 | 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター TEL 0952-34-3010
主催 | 佐賀県健康福祉政策課がん撲滅特別対策室 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター

肉量、身体機能が低下する「サルコペニア」を引き起こしかねず、「バランスの良い正しい食事」をすることが大切です。そこで注目したのが、当大学農学部が開発した高オレイン酸大豆(佐大H01号)です。この高オレイン酸大豆(別称ハイオレ大豆)は、悪玉コレステロールの上昇を防ぎ、動脈硬化や心疾患予防に効果があるとされるオレイン酸を、一般的な大豆の約4倍多く含みます。

ご飯をついお代わりしてしまう方や、たんぱく質が不足しがちな方には、お米2合と大豆1合を一緒に炊き上げる「大豆ご飯をお勧めします。大豆ご飯はよく噛むため、茶碗1杯でも十分な満腹感が得られます。また、大豆ご飯1人分(約170g)で、エネルギー283kcal、たんぱく質10.4g、脂質4.8g(うち一価不飽和脂肪酸1.4g)、食物繊維4.4gを摂取できます。これほど優れた食材はそうそうありません。

このハイオレ大豆と、脂肪肝やメタボ予防に効果的な料理を知ってもらおうと、市内のレストランと一緒にメニューを考えました。ある店舗では佐賀B級グルメの「シリアンライス」のご飯にハイオレ大豆を混ぜ、脂肪を低減させるためにマヨネーズの量を調整し、豚肉は鶏肉に置き換えました。シェフにとつては自慢のメニューだったで



「世界肝炎デー」(7月28日)での啓発活動(上)と飲食店との限定コラボメニュー(中左)佐賀B級グルメをバランス食に調整した「ありたどり大豆御飯のシシリアンライス」(『JONAI SQUARE CAFÉ』佐賀市城内 1-6-10 サガテレビビル1F)(中右)佐賀市を訪れた厚生労働省健康行政特別参与・杉良太郎氏に絶賛された「肝臓にうれしすぎるランチBOX」(『FOOD FACTORY FLEX』佐賀市栄町 2-8)

しょうが、食材を変更した際の栄養量データを共有して実践してくれました。

別の複合型レストランでは、ハイオレ大豆おにぎりに合わせる副菜を5名のシェフが腕を振るい、鶏肉の皮を外し塩麴でやわらかくした蒸し鶏、ハイオレ大豆を挽いてひき肉と混ぜたつくね、ハイオレ大豆粉を使ったケーキ等を考案、さらに野菜をふんだんに取り入れ見た目も美しいバランス

弁当に仕上げてくださいました。これらを「世界肝炎デー」に限定メニューとして提供し、大変好評を博しました。工夫すれば、健康食も「美味しくて満足できる」料理になります。せっかくなら美味しいものをバランスよく食べて健康な体づくりをしていただきたい。その思いでハイオレ大豆や、野菜をたっぷり使ったレシピをケーブルテレビや料理サイトで発信しています。

肝炎医療コーディネーター 薬局の栄養士を育成

肝がん撲滅には、県民が健康診断や検査を受ける「受検」から病院で精密検査を受ける「受診」、治療を受ける「受療」、その後の「フォローアップ」という4つのステップを適切に進むことが重要とされ、その橋渡しや患者・家族のサポートを「肝炎医療コーディネーター(肝CO)」が担っています。肝炎センター

では今まで1825人の肝COを養成してきました。

管理栄養士が勤務する保険薬局は全体の10%未満といわれていますが、患者さんにとって保険薬局は身近な存在であり、病院で聞き忘れたことを相談するケースも少なくありません。薬剤だけでなく、栄養に関しても医療機関と連携したサポートが薬局で可能となれば、患者さんの理解は深まり、行動変容が期待できます。「管理栄養士としての質を高めた」という熱心な薬局は増えており、肝炎センターと保険薬局が協力して勉強会や研修会を開催し積極的に肝CO資格の取得をサポートしています。脂肪肝の方も年々増え続けており、栄養面で患者さんを支援できる肝CO養成・人材育成は重要です。

佐賀県は全国に先駆けて肝がん対策に取り組み、それらは「佐賀モデル」として注目されています。私は肝炎患の栄養に関する研究とともに、健康食となりうる佐賀の美味しい食材を見つけ、皆さんの健康づくりに寄与していきたいと考えています。

YouTube
「肝疾患センターチャンネル」



クックパッド
「Sagankenのキッチン」



(左)YouTubeで脂肪肝対策のアウトドア料理を配信(中)メスティン(箱型飯盒)を使ったカオマンガイなどの料理(右)米2:豆1の割合で炊いた大豆ご飯。煎り大豆も加えて香ばしさアップ。クックパッドにレシピ掲載※ハイオレ大豆は武雄市「武雄温泉物産館」で販売 <https://takeobussankan.shop-pro.jp>

太陽光利用型植物工場で栽培・研究 農作物・加工品は大学構内で販売

農学部生物科学コース施設園芸学分野
アグリ創生教育研究センター センター長 教授(農学博士)

後藤 文之 GOTO Fumiyuki



**野菜をより美味しく
安定生産するために**

施設園芸学は、作物の生育に最適といえない自然環境から作物を解放し、温室を活用して作物生産の質と量を高めることを目的にした学問分野です。具体的には、農業用ハウスなどを利用して農作物や花を栽培する技術の開発、光・湿度・温度などの外部環境が植物に与える影響や、人工的な環境で作物を量産する植物工場の研究等行っています。これらの施設は電気を使用し、自然災害等で電力需要が逼迫すれば稼働を停止する可能性があります。そのため、電力の活用や稼働停止時の作物への影響など



温室に吊り下げて育て、冬に実がなる小玉スイカ

も調査しています。

理学部卒業後に勤めた研究所で植物工場向けに新種を作る研究を行ったことをきっかけに、この分野に進みました。施設園芸学の魅力の一つは実



**20種を植物工場で栽培し
生育状況や収穫量を研究**

近年、温暖化などの影響もあって作物の安定供給と品質の保持が農業の課題となっており、1年を通して高品質の作物を安定的に生産できる植物工場は注目されています。今、

学に直結していることです。以前トマトの栽培施設に数十個のセンサーを設置して施設全体の温度変化や空気の流れなどを計測し、そのデータを農家の方に伝えたところ大変喜ばれました。自分たちの研究が社会に役立つ、必要とされていることを目にするのとやりがいは大きいです。

本学では6連棟の太陽光利用型植物工場で葉物野菜やイチゴ、スイカ、トマト、大豆など約20種類を栽培し、これらにいかん早く、大きく、美味しく栄養価の高い作物に育てるか、研究を続けています。

農家にとって収穫量の違いは大きいものです。本来、大豆は屋外で栽培し1年に1回収穫しますが、本学の植物工場では大型の水耕栽培用ベッドを5段階重ねて栽培し、年に5回収穫できます。そのため年間収穫量は従来の25倍になり、炭酸ガスを施肥すればさらに収穫量は増えます。また、夏の食べ物である小玉スイカを冬に栽培しています。冬にスイ



(上)ハーブなどを栽培(中)太陽光利用型植物工場(左下)キャベツの仲間コールラビ(右下)紫の葉が美しいウィンドレス



①採れたてのミニトマト②綺麗に拭いて袋詰め③5.6種を詰めたサラダセット(150円)④アグリ創生教育研究センター職員が搬入・販売を担当⑤旬の野菜や加工品がずらり⑥販売開始と同時に行列⑦本庄キャンパスは農学部1号館前、美術館前で木曜、鍋島キャンパスは大学附属病院管理棟前で火曜、12:10~30販売

カの花を咲かせ実にするには光合成を活性化させる必要があります、これも研究テーマです。
自然環境の変化によって夏野菜を夏につくるといった従来の栽培が難しくなっており、気温が上昇すれば病気や虫の被害が出やすくなるなど、農家を取り巻く環境は年々厳しくなっています。本学の植物工場は自然環境の影響を受けにくく、防虫できるため無農薬で栽培できます。植物工場

育てた農作物や加工品を学内各所で週1回販売

本学では植物工場の他、アグリ創生教育研究センターで学

の野菜は土耕栽培に比べて味が薄いと言われるがちですが、それも栽培の仕方次第で解決できるのでしよう。一方で植物工場の野菜はえぐみが少なく食べやすいという子どももいるので、さじ加減が難しいところです。

生が実習に使う農作物を育てています。同センターの職員の技術は年々向上し、近頃は実習で使いきれないほどの収穫量となりました。そこで皆さんに召し上がっていただくこと、毎週1回昼休み(12:10~12:30頃)に、農学部1号館前及び美術館前(木曜)と、佐賀大学附属病院管理棟前(火曜)で販売を行っています。春はクレソン、セロリ、イチゴなどの野菜・果物のほか、花

柚子胡椒、お茶などの加工品を販売しています(100円)。特に大学・附属病院職員に大変人気で楽しみにしている人が多く、野菜が並ぶと同時に行列ができるほど。センター職員数の都合で短い



「作物を育てる楽しさも体感できます」

時間ではありますが、食品ロスをしなためにも学内外で広く知っていただき、もっと多くの学生や市民の方にも購入していただきたいです。

また今後は、農作物の活用や販路・販売方法について、地域マーケティングなどの経済学や食品学、医学部など専門分野の先生方と連携できれば、とも考えています。

本学にはさまざまなタイプの先生がいて、それぞれにユニークな研究を行っています。先生は親しみやすく、学生との距離が近くて相談しやすい。学生は意欲的で勉強熱心です。それが本学の魅力であり強みです。学生の皆さんが自分に合う研究と出会い、学びを通じて科学的な思考法を身に付けることを願っています。

学生起業家が作った コーヒー無料の作業場 「ノギ」

在学中に起業した学生に
学生広報スタッフがインタビュー取材しました。



左からノギ代表の児玉浩史さんと学生広報スタッフの乗京志帆（経済1年）、竹下翔子（理工2年）原奈緒佳（経済1年）

今回は「ノギ」共同代表の児玉浩史さんにお話を伺いました。児玉さんは経済学部経営学科4年生（令和4年12月取材時）の学生起業家です。卒業生の江頭宗次郎さんと二人で「ノギ」を立ち上げました。本庄キャンパス近くの空き家を改装し、1階をコワーキングスペース、2階を住居として貸し出しています。佐賀県と合同で大規模イベントの企画・運営も行っています。



Q. 「ノギ」という名前の由来はなんですか？

禾（のぎへん）の「のぎ」から取っています。「急いでいる人に禾をつければ「穂」やかになり、「乃（あなた）」の上に禾をのせると「秀」といったように、禾は組み合わせによって様々な意味を持ちます。そういう禾のように、使う人に寄り添う場所にしたいと願いを込めて名付けました。

Q. なぜノギを作ろうと思ったのですか？

学外で自分たち学生が滞在できる場所が欲しいと思ったのがきっかけです。友達の家に集まるとどうしても友達に負担がかかってしまいます。それで学外に居場所を作ろうと思いました。それに、大学生のうちに友達だけではない交流を広げたいと思ったこともきっかけです。

Q. ノギを経営して嬉しかったことは何ですか？

利用者の方に喜んでもらえることや、県外から同級生が来てくれることです。また、イベントの運営に関わる際、企業と参加者の双方が利益を得ることができた時によかったと思います。

Q. 次に挑戦したいこと、そして今後の目標は？

「ローカリストアカデミー」や「サガシル」等の県のイベントをもっとやっていきたいです。ただ、その打ち合わせのためにコワーキングスペースを閉める時もあるので、両立するのが目標です。

Q. 最後に学生のみなさんへ一言お願いします

学生の皆さんにはバイトや遊び、勉強など何でもいいから自分が決めたことを思い切り楽しんで欲しいです。目の前のことに本気で取り組むことで自分の見方が変わると思っし、意味のなさそうなことでも何かのきっかけになるかもしれないので。学生のうちにいろいろなことを経験して社会とのつながりを見出して欲しいと思います。



営業：水～日 12:00～19:00
料金：学生 2時間 300円、一般 2時間 500円
住所：佐賀市本庄町本庄 219-27
HP：<https://nogi-saga.com/>
Mail：nogi.coworking@gmail.com



今回お世話いただいた佐賀大deラボのみなさんと学生広報スタッフ

「佐賀大deラボ」 体験レポート！

かちがらす 47号で紹介した「佐賀大 de ラボ」に
学生広報スタッフがお邪魔しました。
私たちが体験したことをレポートします！



プラスチックを形に詰めます



さまざまな色の廃材を自由に選びます

3Dプリンターから出るプラスチック廃材を新しい形に。まず枠の中に小さなプラスチックのかげらを入れていきます。その後圧縮する機械で10秒ほどプレスしてプラスチックを溶かせばオリジナルキーホルダーの完成です。プラスチックがどう溶けてどんな模様になるかは運次第。二度と同じものは作れない真正正銘の一点ものです。

① かわいいSDGs
キーホルダー作り

佐賀大deラボにあるレーザーカッターを使い、学生広報スタッフが所属しているサークル「FMメディア研究会」のプレートを作っていたいただきました。人の手では難しい物も、機械にかかればアツという間です。

② 廃材でこんなことまで！
プレート作り



完成した学生広報スタッフ3人のキーホルダー



専用の機械でプレスして固めます



住所：佐賀市与賀町 1341 芳尾記念ラボ 6号室
HP:<https://nakayamairon.com/delabo/SU>
Twitter：@saga_u_delab
YouTube： <https://www.youtube.com/channel/UCM82Csft9nr3AHyKEdQXeeq>



実際の乗車の様子

重いものを運搬するために作られたラジコンです。人が乗っても大丈夫。操縦次第でいろんな動きをしてくれました。問題は私たちの体幹かも……。

③ こんな貴重な体験も！
人が乗れるラジコン



完成！ありがたく使わせていただいています！

カッチーくん LINEスタンプ 販売開始！

みんな大好き愛されキャラ！

佐賀大学の公式マスコットキャラクター「カッチーくん」。職員さんのラクガキがきっかけで生まれました。今では皆に愛されている佐賀大学の顔として大活躍しています！



▲カッチーくん

お待たせしました！

「カッチーくんのLINEスタンプを作ろう！」、その企画が出たのは今から約2年ほど前のことでした。これまでもカッチーくんのLINEスタンプを望む声はありましたが、実現には様々なハードルが立ち塞がっていました。

令和4年度の時点で、22の国立大学と13の学部学科でLINEスタンプを導入していることが分かりました。そこで、同じ九州の国立大学である大分大学と鹿児島大学にLINEスタンプ導入についてお聞きしたところ、両大学ともに最も時間がかかり、苦労したのはやはりスタンプのデザイン。学生の意見を取り入れつつ、イラストを専門業者に外注して完成したとのことでした。

広報室でスタンプを
デザイン！

今回スタンプを制作するにあたって、広報室と学生広報スタッフでスタンプの案を出し合いました。全32種類のスタンプのために、

40種類以上の案が出されました。そしてクリエイティブ分野に強い職員がいる強みを活かして、その全てを広報室でイラスト化しました。

第2弾、第3弾も予定！

販売開始後は、SNSでも好意的な意見をいただいています。中には学生だけでなく親御さんも購入いただいたり、親子のLINEの会話で使用しているという例もありました。現在、学生向けのスタンプや受験生向けのスタンプなども検討しています。今後の展開にご期待ください！



公式LINEスタンプ「佐賀大学のカッチーくん」の一部。全32種類、120円(50LINEコイン)で販売中！学生はもちろん、教職員の皆さんにもお使いいただいています。

合計50名様に当たる！ 読者プレゼント

読者アンケートにお答え頂いた方の中から抽選で合計50名の方に、佐賀大学オリジナルグッズをプレゼントいたします！アンケートは専用はがき、WebアンケートのどちらでもOK。応募期間は5月末日迄。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。たくさんのお応募をお待ちしています！



Webアンケート



ピンバッジ

10名

スーツに合う落ち着いたカッチーくんピンバッジ！



マスキングテープ

40名

大好評のマスキングテープ第2弾！各20名様に！

佐賀大学基金ご寄附者芳名帳(令和4年7月～令和4年12月現在)

佐賀大学基金へのご協力で、心より御礼申し上げます。

ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

【佐賀大学美術館募金】

安座上 隆様 笠 直太様 門井 エツ子様 北村 博様 久保 正子様 篠塚 秀美様
平井 明子様 本田 利光様 山本 良様 認知症の人と家族の会佐賀県支部様 他3件

【佐賀大学基金(一般基金)】

青木 優子様 天本 保子様 有馬 巖様 泉 省吾様 市川 澄子様 岩寄 和子様
江頭富士男様 江村 堂様 太田里佳子様 大津 夏子様 大坪 敏郎様 梶川 隆信様
北川 祐也様 古賀 資之様 古賀常次郎様 古賀 幸子様 後藤 腆之様 城 顯様
末永 哲人様 立場 久雄様 中島 政弘様 永渕 隆昭様 永松 敏彦様 仲道 浩治様
中山 雅文様 西川 泰右様 野澤 知弘様 橋本 朋雄様 原 寛治様 原 舜得様
東島與一郎様 前田 安代様 牧山 末夫様 眞子 正行様 水田 和彦様 三橋 彰弘様
村上 浩様 森山 芳昌様 芳野 絢充様 米倉 信義様 他18件

【修学支援基金】

池田八太郎様 池田 昌彦様 井崎 嘉子様 浦川 智子様 大家 朝子様 大石 剛及様
帯田 輝幸様 金子 正久様 備エーディーワークス様 川崎 健二様 古賀 善通様 古賀 渡様
庄野 道行様 陣内 義守様 宋 尚子様 高橋浩一郎様 竹當 弘矩様 谷田 千里様
徳田 進様 中嶋 真也様 中嶋 洋様 成房 正樹様 野中 和彦様 百武 安秋様
藤井 鹿男様 藤野 健一様 御手洗 永様 宮田 正史様 森 哲哉様 森田 秀祐様
森田 英徳様 森田 博子様 山口 元子様 吉森智香子様 他7件

【課外活動支援基金(漕艇部)】

柏田 知美様 嘉村 朋顕様 嘉村真知子様 木村 直也様 阪本雄一郎様 下地 桐子様
竹内 美香様 田中 理司様 久本 菜美様 松藤 祥平様 他5件

【課外活動支援基金(準硬式野球部)】

上野 陽介様 江村 正様 尾形 善康様 甲斐 敬太様 古賀 佑一様 須田 久雄様
徳永 琢也様 峰松 紀年様 諸隈 宏之様 他1件

【課外活動支援基金(アメリカンフットボール部)】

鎌田 和宏様 宋 誠様 高田 俊行様 十時英理香様 野間 隆司様 松尾 隆一様

【課外活動支援基金(ヨット部)】

古森 環様 武富 映典様 中島 啓二様 中村 瑤子様 藤本 徹様 他6件

【課外活動支援基金(硬式野球部)】 【課外活動支援基金(一般)】

大渡 啓介様 永利 俊治様 木戸 宏幸様 澤田真理子様

【院内保育所事業基金】

医療法人やまね眼科医院様 倉田 さつき様 関谷 英正様 他3件

お問い合わせ先

佐賀大学基金事務局

(佐賀大学総務部総務課内)

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
TEL 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118
E-mail kikin@mail.admin.saga-u.ac.jp
URL https://www.kikin.saga-u.ac.jp

■五十音順にて掲載しております。

■お名前のご公表をご希望されていない方につきましては、人数のみ掲載しております。万が一お名前が漏れている等の不備やお気付きの点等がございましたら、誠に恐縮ですが、佐賀大学基金事務局までご連絡ください。

いただいたご寄附により、奨学金の給付、課外活動の備品購入等に使用させていただきました。今後とも更なるご支援のほどよろしく願っています。

また、多数の卒業生からもご寄附をいただいておりますが、卒業生への広報活動には佐賀大学同窓会のご協力をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。



佐賀大学校友会は、在学生の海外留学、国際活動や課外活動、ボランティア活動などで頑張っている学生への支援を行っています。

※現在、新型コロナウイルスの影響により、生活困窮状態の学生への支援を行っております。

佐賀大学校友会では会員になっていただける方を募集しています。

校友会事業の詳細については、佐賀大学校友会HPに掲載しております。

佐賀大学校友会の活動についてご賛同いただきご入会いただきますようお願いします。

詳細はこちらでご確認下さい。

佐賀大学校友会HP <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp>

●会員制のため、ご芳名は公表しておりません。

お問い合わせ先

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
(佐賀大学総務部総務課内)

電話 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118

E-mail: koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp



誌上ギャラリー

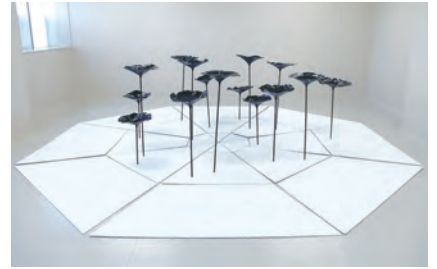
芸術地域デザイン学部 / 大学院地域デザイン研究科 卒業・修了制作展



有田セラミック 「猫」
園田 詩穂



西洋画 「松浦川」
鶴田 梨成子



木工芸 「まほろばの散歩道」
西村 和子



木工芸 「彩光を粧う」
亀田 真夢



西洋画 「ながれにじみゆらく」
福地 まどか



西洋画 「金脈2」
日下野 光



有田セラミック 「ガラスと器」
服巻 七瀬



有田セラミック 「momentary puddle」
福島 悠太



染色工芸 「home」
宗和 彩芽

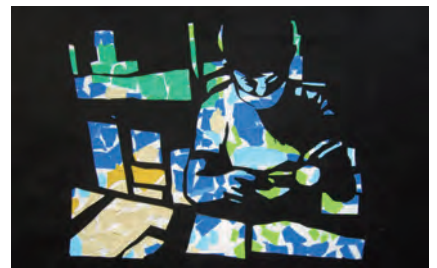
教育学部附属特別支援学校児童生徒作品



「好きなどうぶつ」
小学部 3・4年生 (合作)



「動物園」
中学部 1年生



切り絵であらわす「働く姿」
高等部 2年生



本学の情報をスマートフォンで見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。
スマートフォン用 URL: <https://www.saga-u.ac.jp/sp/>

